

「平成27年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 28 年 3 月 24 日

仕事の内容	第45回ふれあい市民運動会				
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係	課長名 村上 敏彰

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 スポーツ・レクリエーションの推進

(総合計画書 43 ページ)

予算名	款 10 教育費	項 5 保健体育費	目 1 保健体育総務費	事業 3 スポーツ振興事業費
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	東大和市民 → 市内在住者			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	参加者を2,500人にしたい。 → 参加者			
③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)	
実行委員会において、下記の内容について議論を行い運動会の運営を行った。 ・体験コーナーや抽選会の実施 ・イベントの充実 ・人気競技の参加人数の増 → 実行委員会を年間9回行った。				

2 指標の推移		単位	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度目標	平成29年度目標
	対象指標	①の数値	人		85,382	86,092	
	成果指標	②の数値	人		2,300	2,000	
	目 標	②の目標値	人			2,500	
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	回		1	1	

3 経費	事業費		円	0	2,695,099	2,956,077	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,233,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成26年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	0	2,695,099	2,956,077	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.0	0.8	0.8	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	0	6,586,400	6,586,400	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
事業費+人件費		円	0	9,281,499	9,542,477		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	昭和45年10月から開始。スポーツ・レクリエーションを通じて地域コミュニティを広げるとともに、健康保持と相互交流を図る。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 自治会の加入率の減少等の理由で参加者が減少傾向である。自治会以外の参加者を増やしていくため、前年度から競技の参加形態など方針を変えて実施しているところである。	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成27年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	前年度から実施している体験コーナーについて、参加者の満足度の向上が得られた。	

仕 事 の 内 容	第45回ふれあい市民運動会			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 村上 敏彰

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)			
	取り組んだ	取組手法	②実行委員会 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換 ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成28年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。 市内の各団体(市P連や青少対など)と連携してより、市民が参加できるよう、運動会の内容を検討していく必要がある。				
7 課 題	この仕事を振り返り、課題を記入してください。			
	市民への運動会の認知を広げる必要がある(特に市南側、新興マンションの地域) また市内産業も含めて運動会を盛り上げていくような仕組みを作る必要がある。			
8 今 後 の 方 向 性	(1) 仕事の方向性(「7 課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など) 実行委員会の中で、議論を深め、実施していく。			
	(2) 上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的に記入してください。 実行委員が議論しやすい環境を整える。			
	(3) 改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成 果	成果を向上させる。		経 費	仕事の経費は維持する。